

科目	単位	時間	履修学年	講師名
成人看護援助論V	1	30	2	
ねらい	成人期にある対象の健康問題に対し、模擬患者の看護計画を作成し、看護の実際を体験する。			
回数	授業内容			授業方法
1回目	演習のねらい、方法、学習の進め方について説明 演習事例紹介（大腸がん・人工肛門造設術） データベースの記載			講義
2回目	看護過程の展開：ゴードンの機能的健康パターンの11項目 （術前の情報収集）			講義・GW
3回目	看護過程の展開：ゴードンの機能的健康パターンの11項目 （情報の整理・術後合併症につながる情報のアセスメント）①			講義・GW
4回目	看護過程の展開：ゴードンの機能的健康パターンの11項目 （情報の整理・術後合併症につながる情報のアセスメント）②			講義・GW
5回目	看護過程の展開：ゴードンの機能的健康パターンの11項目 （情報の整理・術後合併症につながる情報のアセスメント）③			講義・GW
6回目	看護過程の展開：ゴードンの機能的健康パターンの11項目 （看護診断・関連図）			講義・GW
7回目	看護過程の展開：ゴードンの機能的健康パターンの11項目 （看護診断・看護目標）			講義・GW
8回目	看護過程の展開：ゴードンの機能的健康パターンの11項目 （看護計画立案）①			講義・GW
9回目	看護過程の展開：ゴードンの機能的健康パターンの11項目 （看護計画立案）②			講義・GW
10・11回目	看護計画に沿った看護の実践（術後合併症に対する看護）①②			GW・演習
12回目	看護過程の展開：ゴードンの機能的健康パターンの11項目 記録の書き方 SOAP/看護計画の評価・修正			講義・GW
13回目	看護計画の評価・修正、指導案立案			講義、GW
14・15回目	指導の実際、発表・まとめ			GW・演習
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器（医学書院） 高齢者と成人の周手術期看護2（医歯薬出版株式会社）			
評価方法	看護過程（成果物）100点			
備考	既習の解剖生理や基礎看護技術、周手術期看護の知識・技術を活用し、模擬患者で看護過程の展開を行う。疾患、病態メカニズムに加え、侵襲から引き起こされる生体反応を理解し、術後合併症を起こさないための治療と看護を学習しなおして演習に臨むこと。			